

## Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 01003275  
 PUBLICATION DATE : 09-01-89

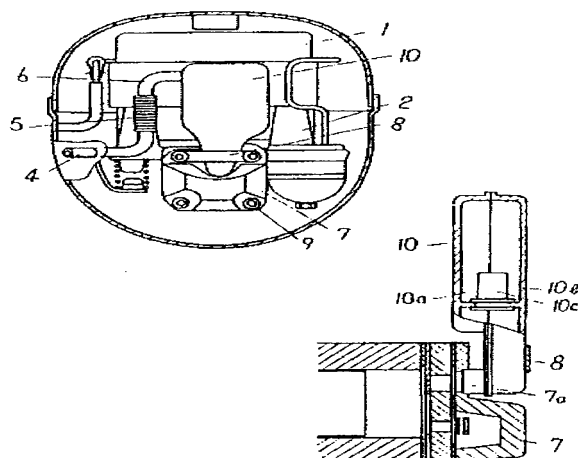
APPLICATION DATE : 26-06-87  
 APPLICATION NUMBER : 62160072

APPLICANT : MATSUSHITA REFRIG CO LTD;

INVENTOR : OTA TOSHIHIKO;

INT.CL. : F04B 39/00 F04B 39/12

TITLE : MUFFLING DEVICE FOR  
 COMPRESSOR



ABSTRACT : PURPOSE: To simplify a forming metal mold and reduce a cost by dividing a suction muffler by a plane perpendicular to the direction of the suction hole of the cylinder head of a compressor.

CONSTITUTION: A suction gas is fed into a suction muffler 10 via a suction tube 4 and a spring 5 and sent into a compression chamber from the suction port 7a of a cylinder head 7. The suction muffler 10 consists of muffler 10a, 10b which are divided by a plane perpendicular to the direction of the suction port 7a of the cylinder head 7 and a connecting pipe 10c. Thereby, the forming metal of the suction muffler can be simplified increasing the number of formed items while reducing cost.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭64-3275

⑮ Int. Cl.<sup>4</sup>F 04 B 39/00  
39/12

識別記号

1 0 1  
1 0 1

庁内整理番号

F-6907-3H  
C-6907-3H

⑬ 公開 昭和64年(1989)1月9日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 圧縮機の消音装置

⑯ 特 願 昭62-160072

⑰ 出 願 昭62(1987)6月26日

⑱ 発 明 者 笹 野 博 大阪府東大阪市高井田本通3丁目22番地 松下冷機株式会社内  
⑱ 発 明 者 川 井 秀 樹 大阪府東大阪市高井田本通3丁目22番地 松下冷機株式会社内  
⑱ 発 明 者 太 田 年 彦 大阪府東大阪市高井田本通3丁目22番地 松下冷機株式会社内  
⑲ 出 願 人 松下冷機株式会社 大阪府東大阪市高井田本通3丁目22番地  
⑲ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

圧縮機の消音装置

## 2. 特許請求の範囲

弾性的に配設した電動要素と圧縮要素と、前記圧縮要素に取り付けられたシリンダヘッド、吸込マフラーを備え、前記シリンダヘッドの吸込孔の方向に対し直角の平面にて、前記吸込マフラーを分割したことを特徴とする圧縮機の消音装置。

## 3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、冷蔵庫等にも使用される圧縮機に関するものである。

従来の技術

近年、圧縮機は省エネルギーを目的とし、エネルギー効率の向上が進んでいるが、その主な技術の一つはもとより吸入ガスが一旦、密閉容器内にて加熱されて膨張し、密度の薄い吸入ガスをシリンダにて吸入圧縮することを改善し、吸入ガスの密度低下を断熱する事により防止して吸入効率を

高めるものである。

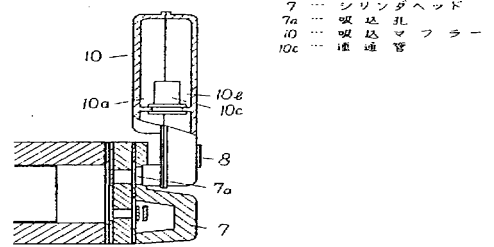
この技術を使う為、吸込マフラーをプラスチックにし、シール性を持たせる必要がある。

以下図面を参照しながら、上述した従来の圧縮機の消音装置の一例について説明する。

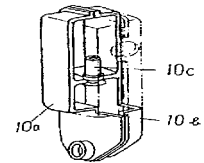
第4図は従来の消音装置の構造を示す概略図、第5図は第4図の側面図、第6図は従来の消音装置の分解斜視図である。

第4図～第6図において、弾性的に支持された電動要素1と圧縮要素2とからなり、プラスチック等の断熱材で作られた吸込マフラー3に連通するサクションチューブ4、密着スプリング5、インサートチューブ6を有し、前記吸込マフラー3はシリンダヘッド7の吸込孔7aにはめ込み板ばね8を介してボルト9で固定されている。また前記吸込マフラー3は上下に容器状をしたマフラー3a、マフラー3b及びR状に成形したパッフル3cにより構成されており、パッフル3cのスプリング力でマフラー3aをマフラー3bにはめ込み固定している。

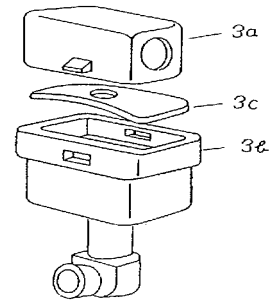
第 2 図



第 3 図

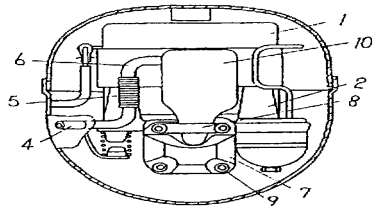


第 6 図

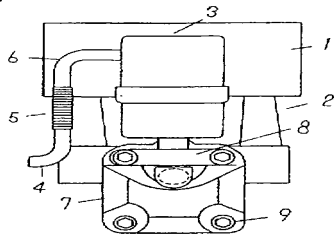


- 1 ... 電動機  
2 ... 圧縮機  
7 ... シリンダヘッド  
7a ... 吸込孔  
7b ... 吸込マフラー  
10 ... 連通管

第 1 図



第 4 図



第 5 図

